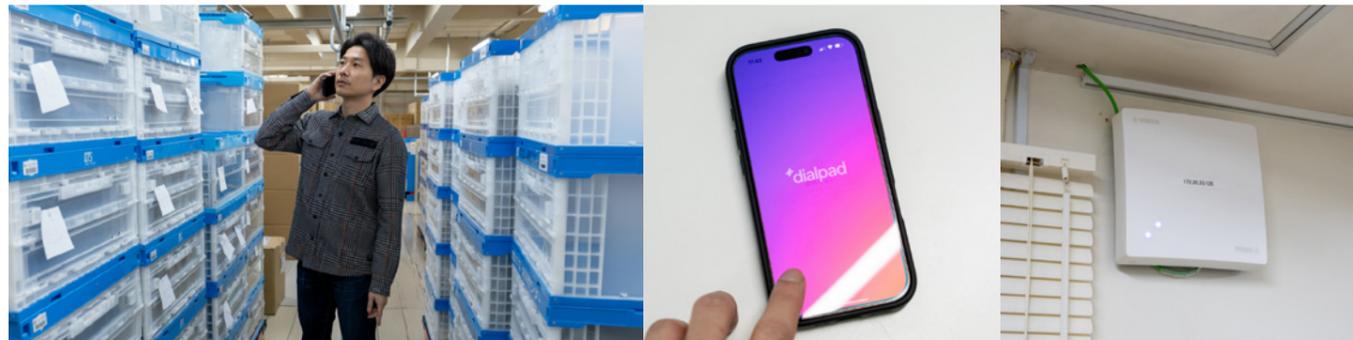


日々の業務の中で、大きな変革だけが前進ではありません。少しずつ、確実に積み重ねていく「ちょっといい変化」こそが、働きやすさやサービスの質を高めていくと、私たちは考えています。今月号では、社用車への電気自動車の導入と、全社的な IP 電話導入の取り組みを特集します。どちらも派手な施策ではありませんが、環境への配慮や業務効率の向上、そしてお客様とのつながりを見直すきっかけとなるものです。日常の延長線上にある OTS の “ちょっといい変化” を、ぜひご覧ください。

📞 IP 電話「Dialpad」の一斉導入 ～固定電話の限界を見据え、現場とお客様をつなぐ次の時代へ～

社内外の連絡手段として長年使用してきた固定電話ですが、集合装置の経年劣化や保守部品の確保、維持管理コストといった課題が年々大きくなっていました。また、働き方や業務スピードが変化する中で、場所に縛られる通信手段では十分な対応が難しい場面も増えています。こうした背景を踏まえ、OTS では固定電話を見直し、全社員に IP 電話を導入しました。業務効率の向上と顧客対応力の強化を図り、将来を見据えた持続可能な体制を整えています。



① なぜ IP 電話を導入したのか

働き方の多様化や業務スピードの向上が求められる中、従来の固定電話では対応しきれない場面が増えてきました。OTS では、より柔軟で確実な連絡体制を整えるため、固定電話を段階的に廃止し、全社員に IP 電話を支給する体制へと移行しました。

② 働き方を支える、新しいコミュニケーションのかたち

IP 電話により、拠点やフロアに縛られることなく、個人単位での連絡が可能になります。倉庫現場や外出先でも即時に対応でき、確認や判断のスピードが向上。待ち時間や伝達ロスの削減につながっています。

③ お客様との繋がりやすさが生む、安心感のある対応

担当者へ直接連絡が可能となるため、問い合わせ対応の迅速化や認識違いの防止が期待できます。情報共有がスムーズになることで、より正確で安心感のあるコミュニケーションを実現します。

④ BCP と業務継続の観点から

IP 電話は場所に依存しないため、災害時や緊急時にも連絡手段を確保しやすく、事業継続の面でも有効です。日常業務の効率化と同時に、リスクへの備えとしても重要な役割を果たします。

Dialpad 導入奮戦記



IP 電話の導入は、想像以上に大きな取り組みとなりました。6 つのセンターに合計 144 台のアクセスポイントを設置し、通信環境の整備からスタートし、全社員への操作説明にも多くの時間を要しました。それでも、現場の皆さんの協力のおかげで、無事に運用を開始でき、少しずつ新しい仕組みが根付いてきています。IP 電話の仕様上、回線が不安定になる場合もありますが、今後はアクセスポイントの増設やソフトウェアの更新を進め、より良い通信環境の整備に努めてまいります。引き続きご理解をお願いいたします。

🚗 電気自動車を導入しました！ ～環境問題が身近な課題となるいま、企業に求められる行動～

気候変動や資源問題が現実の課題として語られる中、環境への配慮は企業活動における重要な責務となっています。大きな変革だけでなく、日々の業務の中で何を選び、どう行動するかが問われる時代です。物流という社会インフラを担う OTS も、環境と向き合う姿勢を大切にしながら、無理なく継続できる取り組みを進めています。その一つとして、環境負荷の低減につながる小型電気自動車を社用車として導入しました。EV カーの導入にあたっては、国や東京都の補助制度を活用することで、本取り組みを実現することができました。



① なぜ今、電気自動車なのか

気候変動や環境問題への関心が高まる中、企業にも持続可能な行動が求められています。物流企業として大きな役割を担う OTS は、すべてを一度に変えるのではなく、まずは社用車という身近なところから環境配慮を始めました。

② 環境負荷の軽減と地域への配慮

電気自動車は走行時に CO₂を排出せず、騒音も抑えられるのが特長です。住宅地に近い拠点も多い OTS にとって、排気ガスや騒音を抑えることは、地域環境への配慮にもつながっています。

③ 社員の意識を変える「実感」

EV の導入は、数値だけでなく体験を通じて環境を意識するきっかけになります。静かな走行や充電の工夫など、日常業務の中で自然と環境への関心が高まっています。

④ 継続できる環境配慮を目指して

環境への取り組みは、一時的な施策ではなく継続が重要です。OTS は現実的かつ無理のない方法で、日々の業務に環境配慮を組み込んでいきます。

電気自動車☆初運転☆体験記



正直、運転前は少し構えていましたが、実際に使ってみると普通の社用車と大きな違いはなく、思っていた以上にスムーズで、すぐに慣れることができました。走行音が静かな点も印象的で、日常業務の中でも違和感なく使用できています。充電や走行距離を意識するようになったことで、これまで当たり前に使っていた車の在り方や移動のあり方を見直す良いきっかけにもなりました。環境のことを頭で「考える」だけでなく、日々の業務を通じて「行動する」第一歩を実感できたと感じています。